

令和2年度

# 学び方の基本

印西中学校の学力向上を目指して



印西中学校 名前 \_\_\_\_\_

## 1 授業に取り組む姿勢について

『授業をきちんと聞いて、しっかりと復習する』というパターンが基本です。

**授業で理解、復習(家庭学習)で定着** ということです。

さらに、理想的には、『先生から教えてもらう』という発想から『**自分から学ぶ**』という姿勢に変えなければなりません。そのためには、十分な予習が必要なのです。

下図のように、3つの学習(予習・授業・復習)が揃って初めて理解できるものなのです。

1 予習 ↓	自分でわからないところを見つけます。
2 授業 ↓	予習で見つけた疑問点を解決し、理解します。
3 復習	授業で理解したことを演習問題(ワーク)等で確認します。

真の学習とは『**自ら課題を発見し、自ら考え、自ら学ぶ**』ということです。

## 2 学習時間について

小中学生の理想的な家庭学習時間、つまり塾等での勉強時間を除いた純粋な学習時間は、最低【小学校からの通年学年×15分】必要だ、という考え方があります。

つまり、

中学1年 (7年×15分=105分) → 1時間45分

中学2年 (8年×15分=120分) → 2時間

中学3年 (9年×15分=135分) → 2時間15分      ということになります。

(受験生は3~4時間は必要かもしれません)

これは、あくまでも平日(学校で授業がある日)の話です。土曜日や日曜日となれば、さらに学習時間は増えることとなります。しかし、現実には部活動等でこれだけの時間も確保できないという場合も出てきます。

では、どうすればいいの・・・？

1日の時間の使い方をよく考えてみてください。始業前の時間や休み時間、昼休み、家に帰ってからでも夕食までの時間等々、無駄に過ごしている時間はかなりあるのではないのでしょうか。連続してこれだけの時間が確保できなくても、通算すれば2～3時間は確保できるものです。

学習時間が長ければ長いほど良いのかというと、決してそうではありません。その時間をいかに集中して、どのように**取り組むか**が大切です。

しかし、時間はともかく、『毎日学習する』という**習慣**が大切で、時間は徐々に伸ばしていけばよいのです。現実的な問題として、学校での学習や部活動で疲れ切った身体で家に帰り、2時間近くの学習時間を確保するのは、非常に厳しい状況にあると思います。

### 3 授業・家庭学習のポイント

#### 授業のポイント10 学力向上のために

1. 2分前に着席し、準備をしよう。
2. 授業の挨拶をしっかりしよう。
3. 授業の「学習目標」を確認しよう。
4. 先生や友人の話を真剣に聞こう。
5. よりよい質問や発表を積極的にしよう。
6. ノートは、授業を再現できるよう、しっかりとろう。
7. 何を学習したのか「振り返り」をしっかりしよう。
8. 課題は確実にやりとげよう。
9. 忘れ物は絶対に無くそう。
10. 提出物は期限内に出そう。

#### 家庭学習のポイント10

\* まず学習の基本

1. 自分の机でやろう。
2. 一人でやろう。
3. 学習のじゃまになる物は片付けてやろう。
4. 毎日決まった時間に始めよう。
5. 時間の長さより集中して取り組もう。
6. 疑問点は先生にすぐ聞こう。
7. テレビ・ゲーム・スマホは時間を決めよう。
8. リズムを創ってやろう。(1時間学習、10分休憩)
9. 宿題は先に片付けよう。
10. 学び方の基本を元に自分なりの学習方法を確立しよう。

### \* 学習支援ソフト「ラインズ e ライブラリアドバンス」を活用しよう

本校では、学校のパソコンや自宅のパソコン・タブレット PC・スマートフォン等を活用して学習できる学習支援ソフト「ラインズ e ライブラリアドバンス」を導入しています。「ラインズ e ライブラリアドバンス」は、ドリル教材を利用した家庭学習機能を有しており、生徒が「家庭学習の習慣化」や「基礎・基本の定着」、「発展的な学習」、「実践的な入試対策」などに取り組めるようになっております。学校での学習とあわせて、ご家庭でも予習・復習などに、活用すると確実に学力が身につきます。印西中学校のホームページから ID カード(配布済)に記載のパスワード等を入力、ログインしてください。

## 4 授業の受け方

### 国 語

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・教科書を正確に読めるようにしてくる。(漢字につまずかないように)
- ・どんな課題にもしっかり取り組み、「考え方」を身につける。
- ・自分の意見や考えを積極的に発表し、他の人の発表もよく聞く。
- ・先生の説明や他の人の考えをよく聞き、よりよい表現や考え方などを取り入れていく。
- ・板書したことを写すだけでなく、ノートの内容を充実させていく。

### 社 会

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・学習課題、まとめは色ペンを使い、線引きで囲む。
- ・ノートを用意し、板書を参考にして、授業内容をまとめる。ノートには、疑問点、気づき、メモなどを記す。
- ・話し合い活動では、班員の意見を真剣に聞き、考えの幅を広げる。また、自分の意見を意欲的に述べ、話す力を身につける。班員、または級友の意見を聞き、自分の考えと比較し、内容をまとめる力を身につける

### 数 学

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・板書を参考にして、授業内容をノートにまとめる。
- ・ノートには、疑問点、気づき、メモなどを記す。
- ・ノートの取り方の工夫をする。(色の使い方、補足説明、間違いに気づく工夫)
- ・なぜ、そうなるのか、根拠(理由)をはっきりさせながら考える。
- ・計算問題では答えにいたるまでの根拠を計算過程として大事にする。
- ・極力ワークなど違う問題に取り組む。

## 理 科

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・予習の意味で、その日の授業に関係する教科書のページを読んで授業を受ける。
- ・板書を参考にして、ノートに学習内容をまとめる。ノートには、疑問点、気づき、メモなどを記す。
- ・理科室には危険薬品や扱い方に注意を要する器具があるので動き回することは厳禁。
- ・実験や話し合い活動に進んで関わる。

## 英 語

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・相手に伝える工夫をする。
- ・学習課題解決のために友達と協力する。
- ・プリントはファイルに綴じ、きちんと保存する。
- ・ノートは自分で作る参考書にするつもりで作成する。(黒板を書き写す。単語練習するなど)
- ・先生やCDの発音の真似をする。
- ・たくさん話す。間違いを恐れない。間違いを笑わない。
- ・提出物は期限をしっかりと守る。

## 音 楽

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・授業に必要な学習用具をきちんとそろえる。
- ・苦手でも、まずはやってみる。
- ・好きになってみようという前向きな気持ちを持つ。
- ・「授業をしっかり受ける」という意識を大切にす。

## 美 術

- ・題材についての目標を持ち、考え、工夫を重ねながら取り組む。(制作過程での様々な工夫を重ね「面倒くさい」といって、途中であきらめないで粘り強く制作していく。)
- ・目標実現の為に、授業に必要な資料、材料、用具などの忘れ物をしない。
- ・グループでの活動は協力して行う。
- ・周りの品物などに落書きをしない。
- ・刃物の使い方に注意する。
- ・自分の作品と同じに友達の作品も大切に扱う。
- ・使った後始末を協力して行う。

## 保健体育

- ・実技中心である為、まず参加することが第一。
- ・実技にふさわしい服装で参加する。
- ・開始時刻には集合し、スムーズに準備運動に入り、リーダーの指示をしっかりと聞き、安全に運動することが出来る心がけが必要。
- ・準備や後始末またそれぞれのルールや約束を守り、協力して運動に取り組み、自分の目標に向かってやり遂げる意欲を大切にする。
- ・忘れ物をしないで自他の健康安全に責任を持って参加する。

## 技術・家庭

技術・家庭科は、自分や周囲を取り巻く生活をしっかり見つめ、健康で安全そして快適に生活していくための、知識や技能を身につけるために学習していく教科です。自分の身近な生活の中から問題点を見つけ、自分の生活に戻して活用していくためにも積極的に取り組んでいきましょう。

- ・毎時間の学習課題を意識して取り組む。
- ・道具・用具をきちんとそろえる。
- ・積極的に取り組む。
- ・安全に十分気をつける。
- ・道具・用具・教室を大切に使う。

## 5 家庭学習のしかた

### 国語

- ・次の授業の範囲を必ず読む。(すらすら読めるように)
- ・語句の意味はしっかり調べ覚える。
- ・漢字練習は、新出漢字のみならず本文に出ている漢字は全て読み書きが出来るように、繰り返し行う。練習後にテストをして確認する。
- ・課題が出ているときは、必ず取り組む。ただ「こなす(やり終える)」事だけを考えずに「頭に入れる」「技術を磨く」という心意気で行う。
- ・普段からよく本を読み、豊かな表現や言葉に触れる。

### 社会

- ・授業で学んだことやワークの問題を繰り返して行う。できなかつた問題に印をつけ、教科書などを見返し、再度行う。(一回だけではできません。繰り返しやるようにしましょう。)
- ・重要語については、漢字で書けるようにして、自分の言葉で簡単に説明できるようにする。
- ・出来事の流れ、またその原因、結果を関連付けて学習する。
- ・新聞やテレビのニュースに関心を持ち社会の動きを知る。

## 数 学

- ・計算練習や基本問題の練習。
- ・計算は、答えだけでなく、考え方の途中過程が伝わるように書く。
- ・できた問題とできなかった問題をはっきりさせる。
- ・できなかった問題に改めて取り組み、できるかどうかを確認する。
- ・授業内容の復習。(疑問を残さない、何がわからないか明確にさせる)

## 理 科

- ・身の回りの現象に心を配り、「なぜ？」という疑問を大切にし、折に触れて解決しようとする探求心を持ち続ける。
- ・授業ノートを見ながら学習課題を振り返り、授業の復習をする。学習する中で出てきた用語の意味、公式の意味を理解しているか確認する。教科書を読み、必要に応じてノートに記述を付け足しておく。
- ・問題集(ワーク)に繰り返し取り組む。できれば自分で新しい問題集を購入し、多くの問題に触れる。

## 英 語

- ・声を出しながら学習する。
- ・宿題はその日の内に必ずやる。
  1. その日、学習した教科書の音読は、10回以上。
  2. その日、学習した単語や文章は、何回も書く。
  3. その日、学習した内容は、ワークで必ず確認する。
- ・「中高生のための英検対策問題」(LINE)で練習問題やリスニング問題に取り組む。

## 6 定期テスト学習法

### 国 語

- ・漢字は根気よく練習，確認テストを繰り返し、完璧にしておく。
- ・ワーク(学習・漢字・文法)を使って、問題を解く練習をする。答え合わせの時は、なぜその答えになるかを理解して進める。
- ・ノートやプリントを見直し、授業でやったこと(新しい知識や考え方)を復習する。

### 社 会

- ・授業で学んだこと、ワークの問題を繰り返し行う。できなかった問題に印をつけ、教科書などを見返した後、再度行う。

- ・ノート提出やレポート提出があるので、ノートには学習の足あとが残るよう、日頃からまとめておく。
- ・出来事の流れ、またその原因、結果を関連付けて学習する。
- ・書いて覚え、口に出して覚え、人に教えて覚えていく。
- ・時事問題があります。教科書を丁寧に読み、新聞やテレビのニュースをチェックし、自分の言葉で表現できるようにする。

## 数 学

- ・教科書を中心にノートや例題を確認する。なぜ、そうなるのか根拠を確認する。
- ・ワークなどを活用して、出来るだけ多く問題練習をする。わからない問題は解答を読みながら解く。
- ・間違えた問題はやり直しをし、どこで間違えたか確認する。
- ・間違いを繰り返さないように、わかるまで確実な取り組みをする。

## 理 科

- ・テストは現象を提示したり、実験装置を提示し、それを中心として問題を構成している。
- ・実験の結果を覚えておく。また、結果を基に考えられる規則や法則、考察をしっかり答えられるようにする。
- ・実験観察装置、薬品、安全のための配慮、器具の扱い方の注意点を復習し、理解しておくようにする。またその観察や実験によって明らかになったことは何かを復習しておく。
- ・テスト範囲に関する問題(ワーク)を8割正解できるまでやる。

## 英 語

- ・授業内容を振り返る。(自分の作ったノートを参照)
- ・教科書を何回も読み、本文や重要構文を理解する。
- ・ワークの問題をもう一度やって、自分の理解を確認する。
- ・学習した英語を使って、自分なりの表現(文章)が書けるようにする。
- ・英語を理解する学習を心がけよう。
- ・読んだことに関して、英語で自分の感想や意見を書けるようにする。



## 7 学習評価

各教科の学習評価をするポイントです。評価も意識して授業にのぞもう。

### 国 語

○知識・理解

・  
・

○思考・判断・表現等

・  
・

○学びに向かう力等

・  
・

### 社 会

○知識・理解

・  
・

○思考・判断・表現等

・  
・

○学びに向かう力等

・  
・

### 数 学

○知識・理解

・  
・

○思考・判断・表現等

・  
・

○学びに向かう力等

・  
・

## 理 科

○知識・理解

・

・

○思考・判断・表現等

・

・

○学びに向かう力等

・

・

## 英 語

○知識・理解

・

・

○思考・判断・表現等

・

・

○学びに向かう力等

・

・

## 音 楽

○知識・理解

・

・

○思考・判断・表現等

・

・

○学びに向かう力等

・

・

## 美 術

○知識・理解

・

・

○思考・判断・表現等

・  
・

○学びに向かう力等

・  
・

## 保健体育

○知識・理解

・  
・

○思考・判断・表現等

・  
・

○学びに向かう力等

・  
・

## 技術・家庭

○知識・理解

・  
・

○思考・判断・表現等

・  
・

○学びに向かう力等

・  
・